

人間国宝・故三浦小平二先生の 作品が佐渡市へ寄贈されました

三浦小平二先生は昭和8年佐渡・相川に生まれ、昭和30年東京芸術大学彫刻科を卒業後、父・三浦小平と加藤土師萌氏^{はじめ}に師事し、陶芸の道に入りました。焼しめ、鉄絵、鈎窯など多様な作風を経て青磁にたどり着きます。

昭和51年には日本伝統工芸展文部大臣賞、日本陶磁協会賞を受賞するなど注目を集め、その頃旅したシルクロード取材を通じて青磁に色絵を施すという独特の世界が確立されます。

小平二先生は陶芸界の中心的な存在として活躍され、平成8年に紫綬褒章、平成9年には青磁の分野で初めて重要無形文化財技術保持者（人間国宝）に認定されました。

平成18年「作陶50年人間国宝三浦小平二展」が東京日本橋三越（5月）と新潟三越（9月）で開催され、新潟での展覧会から帰京した10月3日、急性心筋梗塞で急逝されました。享年73歳でした。

このたび、奥様の三浦竹子様からのご厚意で、先生の作品30点が佐渡市へ寄贈されました。これらの作品は、先生の陶芸活動の初期のものから現在までのもので、青磁や陶板、軸装など大変貴重なものばかりです。

佐渡市はこの貴重な作品を「佐渡の宝物」として、大切に保存し、後世に残してまいります。

なお、この作品は一般公開をして、市民や観光客など多くの方々に先生の偉業を伝えたいと考えています。来年1月からの佐渡博物館を皮切りに相川郷土博物館、両津郷土博物館で巡回展を予定していますので、ぜひ、この機会に先生の作品をご覧ください。



◆教育委員会 世界遺産・文化振興課 ☎27-4170



ごみのポイ捨ては、絶対止めましょう！

佐渡市不法投棄監視員ネットワークでは、佐渡市連合婦人会と協力し、「不法投棄撲滅リーダー100人行動」の一環として、ポイ捨て防止啓発マグネットシートを100枚作製し、不法投棄監視員および佐渡市連合婦人会の会員の自家用車に貼り、ポイ捨て防止を呼びかけます。

私たちが住む、美しい島づくりのために、ごみのポイ捨ては、絶対止めましょう。



◆市役所 廃棄物対策課 ☎63-5140

